

■杉亨二 統計学者。日本の統計学の開祖。文明開化のエースながら、時代に先駆け過ぎ、晩年は不遇。

すぎこうじ

シボク事件・1828= 長崎に生まれる。父は泰輔、祖父敬輔は医者。

大塩平八郎乱1837= 9歳：この頃、父母を亡くして孤児となり、時計師上野俊之丞の家僕となる。

時計屋の店員になって苦学、

天保改革終・1844=16歳：大村藩医村田徹斎に引取られて書生となり、そこで長与専斎を識る。

阿部正弘首座1845=17歳：

孝明天皇・1846=18歳：

・・・1848=20歳：大坂の緒方洪庵の蘭学塾適々斎塾に入り、箕作秋坪・佐野常民らと識るが、脚気のため村田家に戻る。

国定忠治疎・1850=22歳：出府し、坪井信道の日習堂に入門、原田一道らと交わり、
尊徳報徳論・1851=23歳：松代藩士村上英俊を手伝い、仏蘭西字書蘭仏対訳「ハルマ」を編集。

万次郎帰国・1852=24歳：杉田成卿に師事して神田孝平や佐久間象山を識る。

ペリー来航・1853=25歳：築地奥平邸で蘭学を教え、深川の館林藩医に仮寓後、勝海舟宅に移り塾頭を勤める。

安政大地震・1855=27歳：勝海舟の推挙で、老中阿部正弘に仕え、

松下村塾・1856=28歳：阿部家側役の妹と結婚。

桜田門外変・1860=32歳：_蕃書調所に出仕、教授手伝となり、

禁門の変・1864=36歳：*開成所教授職に昇進、

薩摩藩士密航1865=37歳：亨二と改名。

この間、_西洋の"スタチスチック"(統計学)に関心を持つ。

明治維新・1868=40歳：_維新により、徳川家に従って静岡に移住、沼津兵学校で仏学を教えながら、

戊辰戦争終・1869=41歳：_駿河国人別調を実施し統計(政表)をつくる。

初の日刊新聞1870=42歳：民部省に一時出仕、

廃藩置県・1871=43歳：太政官正院政表大書記となり、

学問のすすめ1872=44歳

*わが国最初の統計年鑑「辛未政表」(明治4年統計のこと)を作製、以後毎年公刊されるようになった。

明治6年政変 1873=45歳：_国勢調査の必要を建議。明六社に参加し、以後(明六雑誌)にしばしば寄稿、

佐賀の乱・1874=46歳：「壬申政表」。正院政表課長となり統計事務を統轄、統計実務担当者の育成にも努める。

三つの反乱・1876=48歳：_有志と表記学社を結成。

西南戦争・1877=49歳：権大書記官となる。ブルンチュエリを訳述した「国勢党派論」を刊行。

大久保暗殺・1878=50歳：_スタチスチック社と改称。有志と製表社を創設して、統計学会の基礎を興し、

琉球処分・1879=51歳：*東京学士会院会員に挙げられ、わが国初の近代的な人口調査「12月31日現在の甲斐国の人口調査」を実施、

明治14年政変1881=53歳：_建言により設置された統計院の大書記官に就任後、

新体詩抄・1882=54歳：_勲五等、雙光旭日章。_「甲斐国現在人別調」として刊行。

岩倉具視没・1883=55歳：_共立統計学校を設立したが、

内閣発足・1885=57歳：*官制改革で統計院が廃止されるとともに官を辞し、共立統計学校も廃校となった。

帝国大学始・1886=58歳：_「スタチスチック雑誌」を創刊。

初の対等条約1888=60歳：_正五位。

帝国憲法発布1889=61歳：

足尾鉉毒始・1891=63歳：

ビ7/国産化・1900=72歳：

教科書疑獄・1902=74歳：「杉先生講演集」が刊行される。勲三等瑞宝章。

日比谷公園・1903=75歳：_法学博士号を受け、

日露戦争終・1905=77歳：

伊藤博文暗殺1909=81歳：

韓国併合・1910=82歳：_国勢調査準備委員会が設置されて委員となるが、

21ヶ条要求・1915=87歳：_米寿宴を開き自叙伝をつくる。勲二等瑞宝章。

ロシア革命・1917=89歳：_その実施前に、没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、インターネット、